

平成30年度第2回川崎市産業振興協議会中小企業活性化専門部会

会 議 録

1 開催日時

平成30年12月26日（水）15時30分～16時30分

2 開催場所

新川崎・創造のもり NANOBIC2階 会議室

3 出席者

(1) 委員（8名）

遠山委員（専修大学経済学部教授）、中山委員（横浜市立大学国際総合科学部教授）岩井委員（川崎商工会議所常務理事・事務局長）、大西委員（神奈川県情報サービス協議会常務理事）、小出委員（川崎市食品衛生協会副会長）、出口委員（川崎市商店街連合会青年部相談役）、星野委員（神奈川県中小企業家同友会政策委員長）、三田村委員（川崎市青年工業経営研究会幹事）

(2) 事務局

経済労働局産業政策部長、企画課長、企画課担当係長、企画課職員

4 議題（公開）

(1) 部会長の選出

(2) 平成29年度中小企業活性化施策報告書について

(3) 平成30年度中小企業活性化施策の検証の進め方について

(4) 市内中小事業者等の生産性向上・働き方改革の支援メニューについて

5 傍聴者

なし

6 会議の内容

(1) 部会長の選出

委員互選により、遠山委員が部会長に就任。

遠山会長推薦により、中山委員が副部会長に就任。

(2) 及び (3) 中小企業活性化条例に基づく施策検証について

事務局より下記資料について説明

- ・平成29年度中小企業活性化施策報告書について
- ・平成30年度中小企業活性化施策の検証の進め方について

(以下、議事録)

星野委員

各事業で主な成果・活動指標と実績が示されているが、例えばウェルフェアイノベーションでは件数や開催件数が挙がっているが、実施事業者やユーザーの声も記載いただくと、事業の貢献度や認知度などが分かり、より理解しやすいと思う。

委員が、事業の視察等に行くことが出来ればよいとは思いますが、なかなか難しいので、実際参加されている方の意見が入っていると分かりやすい。

遠山委員長

その通りである。コラムなどがそういうことを反映させようと努力している部分だと思う。星野委員のご指摘は、どちらかというともB to Cの部分だと思う。コラムではB to Bの部分はフォローできているが、Cの部分は経済労働局以外の他局にも関係ある部分であり、情報収集が難しい。そういう点で、ウェルフェアイノベーションは比較的他局とも連携している部類の事業と思われる。

出口委員

平成30年9月に報告書を公表して、反響はあったか。

事務局

市議会で質問された。特に、「受注機会の増大」の項目は市議会各会派から注目されている。平成29年度の報告において特徴的なのは、工事の契約金額について、準市内・市外の企業がかなり伸びている。これはコンソーシアムやJVなどを組成し、技術的に優位に立っている企業が市外に多いものと思われる。

岩井委員

資料2について。事業計画について達成できないこともあると思うが、その際は実施できなかった理由について、口頭でもよいので教えていただければ、分かりやすい。

遠山委員

資料2について言及があったが、1、2月に事務局から詳細な事業説明をいただけることでよいか。イメージでは1月末から2月に担当事業の検証結果を提出することになる。

事務局

委員の方からいただいたスケジュールに基づき、各委員の事業説明と次回の専門部会の日時を決めさせていただく。

遠山委員長

昨年だと、その後各委員からいただいた結果を事務局で取りまとめ、第3回の部会で、2

班に分かれて各委員と討議しながら事業検証していった。今年度もそのイメージでよいか。
事務局

結構である。昨年度と同様の進め方を考えている。

出口委員

検討をするときに、様々な資料でお示しはいただくが、参加した企業からの話が聞けると検証の参考にしやすい。想像で検討している部分もあるので、当事者による生の声を聴いてみたいという思いがある。

事務局

このたび検証いただいた中で、各委員が関心ある事業や事業者をピックアップいただき、次の部会（平成31年開催）で視察や事業説明を直接いただくことも検討したい。

遠山委員長

確かに知っている分野はいいが、専門外の分野は材料があるほうがよい。

星野委員

初期は条例しかなかったもので、そのころに比べると資料はかなり充実してきたと思う。ただ、検証する項目が増えたので、どこを重点的に検証すればいいかをもう少し掘り下げていただけるとありがたい。最終的には、学識委員が施策の柱ごとに検証意見をまとめていただけるとございますが。

事務局

ご指摘の通り、学識委員には、2月の部会で各委員の検証意見を施策の柱ごとに取り纏めていただき、それは当部会の意見として産業振興協議会に報告させていただく予定である。

遠山委員長

確かにその部分は、今年度から追加された部分である。

三田村委員

商業振興関連事業などは専門外の分野なので、単純に参加人数や件数の大小で検証できるかは不安である。

対馬企画課長

委員の皆様にはできるだけ事業背景を丁寧にご説明させていただく。

遠山委員長

昨年度から検証する担当施策が一部変更されていると思う。委員によっては不得手なものも担っていただく必要がある。

中山委員

各事業の「検証意見（CHECK）」の部分を埋めていく作業するというでよいか。

事務局

ご指摘の通り。

中山委員

他都市の産業振興の委員会などでは、中小企業診断士等に入ってもらって検証する手法もある。コンサルタントなど幅広い分野に精通している方に見てもらうことで、専門外の部分の検証をせずに効率的に検証できる場合もある。

遠山委員長

この専門部会の委員が、各分野に精通している方々ということで集まっていたいでいる。

各委員は検証対象事業についてその他ご意見あるか。（各委員、特段の変更希望はなし）それでは基本的に事務局案で進めさせていただく。委員の皆様には事業検証の意見出しなど

ご負担いただくが、御協力のほどを。

(4) 市内中小事業者等の生産性向上・働き方改革の支援メニューについて

事務局より下記資料について説明

・働き方改革・生産性向上施策ガイドブック

三田村委員

12月末で1次公募が切だが、応募状況は。

事務局

問い合わせは日々来ており、申請もある程度来ているが、予算にはまだ余裕がある状況。今回は製造業以外の幅広い業種に対象を広げており、様々な方からご質問いただく。人材育成の研修の支援に関心が高い印象がある。

星野委員

外国人を採用するにあたって、外国人向けの日本語研修等に支援があればいいと思う。

事務局

社員向けの研修であれば、日本語研修も対象となる。

星野委員

各社人手不足であり、外国人人材の活用を検討しているが、その際日本語が壁になる。商業にしても、工業にしても、従事するには専門用語を覚える必要があるので、そうした支援が簡単に申請できるとよい。実際の申請書については、どのくらいの分量か。

事務局

申請書類は2枚程度。記載例も併せて示している。

星野委員

できるだけ簡素化していただくと効果も高まるものと思われる。

遠山委員長

これは川崎市独自の支援メニューか。

事務局

その通り。

遠山委員長

他都市の状況はどうか。パッケージでやっているところはあるのか。

事務局

各々はあるが、パッケージでやっているところは少ないと思う。

遠山委員長

モデル事業のようにある程度大きい規模で実施する事業も重要であるが、20万円程度の少額の導入事例があったほうが、中小企業の具体的なヒントになり周知がしやすくてよい。

三田村委員

今回の補助金は早い段階でご説明をいただいたが、申請のハードルは低い印象。国の補助金などに比べたら、かなり簡素化されていると思う。

対馬企画課長

現在、様々な企業や団体にお伺いしたり、様々な会議の場で制度周知をしたりして活用を促しているところ。ぜひ皆様にも御協力いただければ。

中山委員

よろず支援拠点のような支援機関や、信用金庫などの金融機関に協力をいただくのがいいのではないかと。

草野産業政策部長

「川崎市働き方改革・生産性革命推進プラットフォーム」に川崎信用金庫や横浜銀行にも参加いただき、協力していただいているところ。

大西委員

別の自治体に補助金申請すると面談の通知が来たが、ないという認識でよいか。

また、設備導入の補助金について、基幹システムの改修なども対象となるのか。

事務局

面談等は特に設けていない。また、基幹システム改修については、一概に可能とは言えないが、その導入により生産性向上、働き方改革がどのように進むのかを示していただければ対象になる可能性はある。

出口委員

生産性向上について、具体的に何が何%向上すると該当になるか、規定があるか。

事務局

今回の補助金は特に具体的な数値を規定していない。申請事業の実施によりどのように効率化、省力化されるかなどを具体的に記載いただければ受理している。

星野委員

補助金制度についてQ&Aがあるとわかりやすい。

草野産業政策部長

今年度は補正予算ということで11月から開始したが、来年度も事業展開をしていく予定であり、3年計画の事業である。

岩井委員

増税対策については検討しているのか。

草野産業政策部長

働き方改革、生産性向上とは別で今後、実施していくことになると思う。

遠山委員長

では、以上で本日の議題は終了とする。

草野産業政策部長

ご多忙の中、ご参加いただき感謝。事業検証等について今後とも協力をお願いする。

以 上